

# CASBEE<sup>®</sup>広島

(2010年ver.1)

## 評価結果

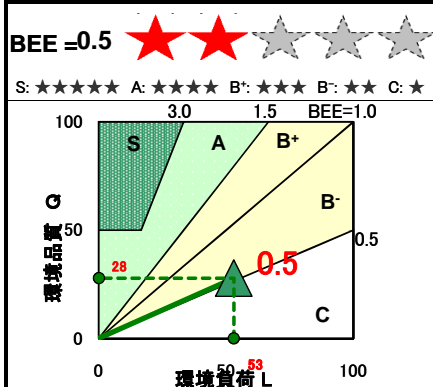
■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

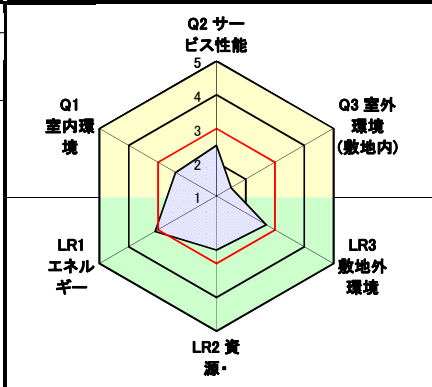
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)商工センター事業所新築工事	階数	地上3F
建設地	広島市西区商工センター1丁目14-65・66	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	20人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	1,600時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年9月 予定	評価の実施日	2012年3月30日
敷地面積	2,310 m <sup>2</sup>	作成者	鉄升卓爾
建築面積	1,339 m <sup>2</sup>	確認日	2012年3月30日
延床面積	3,920 m <sup>2</sup>	確認者	鉄升卓爾

外観/パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

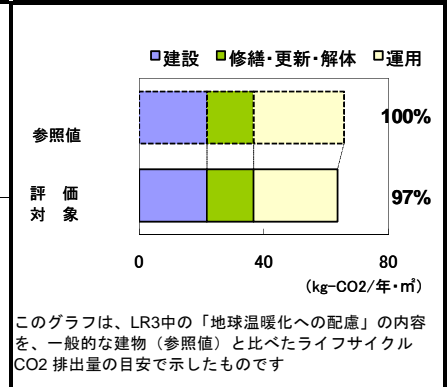
### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



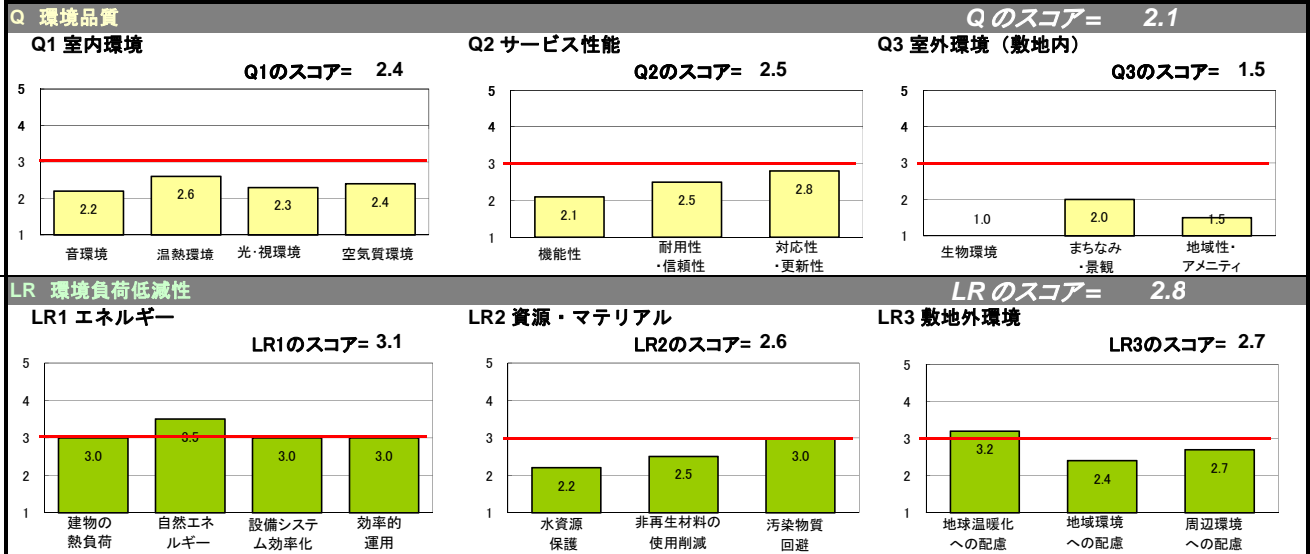
### 2-2 大項目の評価(レーダーチャート)



### 2-3 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



### 2-4 中項目の評価(バーチャート)



### 3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 2.6

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 2.9	スコア = 1.6	スコア = 2.7
<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> 屋根に断熱材を使い熱負荷を押えている。また一部開口部サッシはLow-eガラスを使用/ハイサイドライトを設け、外光などを利用する。/一部LEDダウンライトを使用。//プレストレスコンクリートを使用/	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> 緑地を配置/従業員駐車場を設置	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> プレストレスコンクリートを採用/配管用ピットを設置

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される